

ふみさと津軽  
フミサト

伊奈かつぺい

ライブ~その四~

2011年12月16日(金)

18:30 開場 / 19:00 開演

北沢タウンホール

チケット  
9/9(金)  
発売開始

少し訛って  
本音と  
訛って



# 伊奈かっぺい

## ライブ~その四~

青森在住で津軽弁を駆使した語り口と、ユーモアあふれるステージで人気のある伊奈かっぺいの四回目のソロトークライブ。

バックには、小室等、白鳥英美子、加藤登紀子、南正人など、多くのアーティストのバックミュージシャンとして、ステージ及びスタジオワークをサポート、幅広いジャンルで活躍するキーボード奏者・竹田裕美子と、地元青森の津軽三味線奏者・山上進を迎えて行きます。

特にこれと言って津軽弁を売り物にしているつもりはないのだが、名前のイメージからして、どうも方言とか訛りのイメージが強いらしい。もちろん、全然話していない、と胸を張れる立場でもないが。だからと言って必要以上に、あるいは妙に方言（津軽弁）を駆使したり、まして酷使したりしてきた覚えはない。方言は、あくまでもサリゲナク、ナチュラルでありたいとも思っている。伊奈かっぺい



### 伊奈かっぺい プロフィール

本名：佐藤 元伸（さとう もとのぶ）  
1947年4月16日、青森県弘前市生まれ。

タレント、作家、詩人、ラジオパーソナリティ、イラストレーター、エッセイスト、シンガーソングライター、俳優…と、多彩な顔を持つ。以前は、(株)青森放送の社員でもあり、2足のわらじで東北地方を中心に幅広いタレント活動・制作活動を行ってきた。昭和49年、方言詩集『消ゴムでかいた落書き』を自費出版。これが「伊奈かっぺい」のユニークな活動のきっかけとなる。昭和61年、日本テレビ系「かっぺい＆アッコおかしな二人」などで全国に活躍の場を広げ、現在も日常生活に題材をとったペースある独特の笑いの

世界を創り上げ、自作の詩の朗読、自作の歌などでステージ活動を続け、全国的に幅広いファンを獲得している。また、東京で11年間定期的に行ってきた渋谷ジャン・ジャン（2000年閉館）での津軽弁トークコンサートは、同郷出身の渋谷のり子、高橋竹山、矢野龍子らと並ぶ人気を持った。現在、NHKラジオ「ぬくたまりの宿 みちのく亭」、RABラジオ「伊奈かっぺい「隙の空 うわの空」」などの他、日本全国で幅広くタレント活動・制作活動を行っている。津軽弁を愛する根っからの津軽衆、「津軽弁の日やるべし会」の代表者の一人でもある。「ライブ館 津軽 13 日の金曜日 にぎやかなひとりごと」「雷は天から人は地から -20 年目の冬-」「津軽だべっ!」「講演会ゴッコ」など、CD・著書も多数。

2011年12月16日(金)

18:30 開場 / 19:00 開演  
全席指定 ● 前売 3500 円 / 当日 3800 円

出演 ● 伊奈かっぺい  
ピアノ ● 竹田裕美子  
津軽三味線・尺八・横笛 ● 山上進

会場  
北沢タウンホール 世田谷区北沢 2-8-18

チケット取り扱い  
カンフェティ 0120-240-540 (平日 10 時 ~ 18 時)  
北沢タウンホール 03-5478-8006

主催  
北沢タウンホール (アクティオ株式会社)

企画製作  
舞台よろず相談所 K・企画

### 北沢タウンホールマップ

小田急線・新南から急行7分各停10分  
井の原線・渋谷から急行3分各停5分  
下北沢駅南口から徒歩4分

